

抗 ラット MARCKS モノクローナル抗体 (Clone No. MAR11/2)

Myristoylated alanine-rich C kinase substrate (MARCKS)は、脳及び血管、内分泌組織などに多量に存在し、Ca²⁺存在下で calmodulin と、Ca²⁺非存在下では actin と結合するタンパク質です。

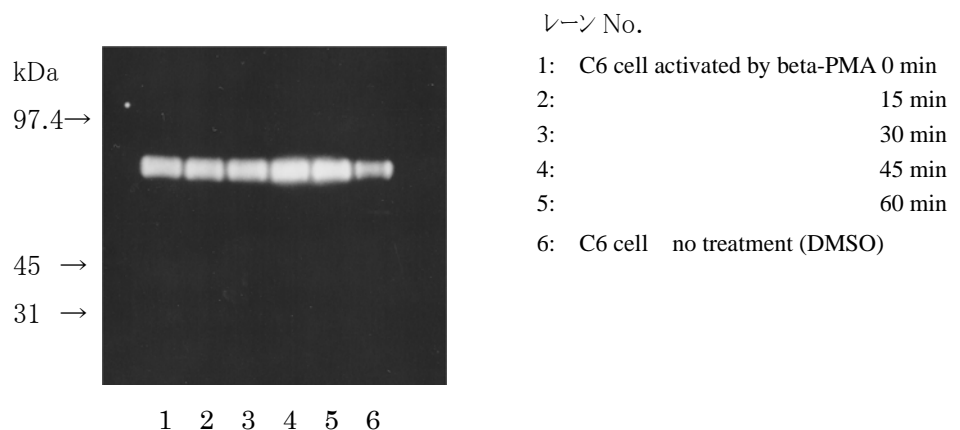
MARCK は protein kinase C (PKC) の良好な基質ですが、PKC によりリン酸化され MARCKS (P-MARCKS) においては、calmodulin や actin との結合は弱くなります。臨床的には、P-MARCKS が動脈硬化部位の血管平滑筋細胞や、アルツハイマー病の脳組織に検出されることがわかっています。

本抗体は、MARCKS に特異的な抗体で、上記の疾患などの研究において、MARCKS の関与を解析するために有用です。

本抗体はウエスタンブロット、免疫染色に使用可能です。

容量	50µg (200µL/vial)
形状	ラットモノクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	MAR11/2
サブクラス	IgG2a
製造方法	ラット MARCKS の C 末端ペプチド断片をラットに免疫し、そのリンパ節とマウスミエローマSP2を融合して得たハイブリドーマを無血清培地に培養し、Protein G アフィニティークラムにて精製。
使用濃度	ウエスタンブロット:1~5µg/ mL

ウエスタンブロットによる抗 MARCKS 抗体の反応性



抗 ラット MARCKS モノクローナル抗体 (Clone No. MAR11/2)

【参考文献】

1. SD Rose et al, Differential expression of MARCKS and other calmodulin binding protein kinase C substrate in cultured neuroblastoma and glioma cells. J.Neurochem.63, 2314-2323,1994

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp